

赤潮・貧酸素情報（10）

平成26年7月22日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

人工島以南の海域で底層の酸素濃度が低くなっており注意が必要です。

< 貧酸素水塊の発生状況 >

表1 漁場酸素濃度測定結果（7月22日）

番号	採水場所	調査時刻	水深	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	酸素濃度 (DO(%))
①	柄杓田	10:30	7.2	表層	25.1	30.52	117.6
				底層	23.7	31.31	86.4
②	人工島 (西岸)	10:45	6.2	表層	28.0	28.71	134.7
				底層	23.6	30.77	34.6
③	人工島 (東岸)	11:15	7.8	表層	26.2	29.63	127.6
				底層	23.2	31.13	43.7
④	苅田沖	11:26	7.0	表層	26.5	29.79	141.9
				底層	23.9	30.87	32.9
⑤	蓑島いかだ	11:37	7.9	表層	27.5	28.60	129.8
				底層	24.4	30.74	47.7
⑥	稲童沖	11:50	8.4	表層	28.7	28.48	138.1
				底層	23.4	31.34	42.6
⑦	椎田いかだ	12:02	7.8	表層	28.9	28.98	132.6
				底層	23.8	31.14	45.9
⑧	宇島いかだ	9:06	8.4	表層	28.1	29.03	129.0
				底層	23.2	31.52	64.7
⑨	北部沖	10:10	11.9	表層	27.6	29.10	133.5
				底層	20.3	32.46	66.2
⑩	シーバース	9:46	22.3	表層	26.1	29.77	133.6
				底層	19.2	32.87	72.7
⑩	南部沖	9:26	13.7	表層	28.2	28.59	132.6
				底層	20.2	32.54	45.9

○酸素濃度が30～50%の水塊が人工島西岸（図1中②）から椎田いかだ（図1中⑦）にかけて認められています。

※酸素濃度（D0(%)）は、およそ30%以下で魚介類に影響を及ぼし、10%以下でへい死する恐れがあります。

<有害プランクトンの状況>

○カレニア・ミキモトイが、人工島東岸の底層および宇島いかだ付近の中層で海水1ml中にそれぞれ540細胞、および90細胞認められています。

※カレニア・ミキモトイは、数千～1万細胞で魚介類に被害を及ぼします。

<今後の状況>

○今後の天候次第によっては、貧酸素水塊の分布域や有害プランクトンの移動や拡大の恐れがあります。

○研究所では引き続き赤潮と貧酸素の発生状況について調査を行いますので、今後の情報に十分ご注意ください。

※今後、漁業被害、海面着色などがみられましたら、豊前海研究所（0979-82-2151、担当：俵積田、大形）までご連絡下さい。

図1 調査地点図

